

問7 配布QA問3に、センターは年間3600回の利用があるとあるが、会館は遠いし、センターで十分と言う人も多いため、それほどいかないのではないか。以前、実施したつくし野センター利用団体へのアンケートの結果を反映して欲しい。会館を利用しないというのもあったと思う。

回答：音楽室がない、遠いというので利用しないという回答もあった。アンケート調査の結果による年間利用回数、3,600回のうち例えば500回を新しい自治会館を利用してもらえば500回×800円=400,000円の売上になるので当面のランニングコストを賄えるのでは？と考えています。

問8 団塊世代がリタイアした後、人口が減る。子ども会や自治会主催のイベントが人手不足で次々と中止になっていることを考えると自治会館の維持管理は、自治会では無理では？イベントはやめることができるが、建物は簡単にやめるとはいえない。センターが地元に移管されるかもしれない。2つも会館を運営するのは難しい。

回答：人口が減っていくのは事実だと思う。ご指摘の内容に十分、目配りをしてゆきます。高齢化が進んでも「外に出てきてもらえる場所」にしたい。高齢福祉施設芙蓉会でも使いたいとの声がある。

問9 金の使い方の議論も大事だがもっとコミュニケーションを活発にして、つくし野の活性化をもっと図る必要があるのでは？自治会館づくりにあたって、昔のパークロードの賑わいを取り戻せるよう期待したい。

回答：アンケート調査も1年3か月前に実施しただけなのでこれからいろいろと対話を深めたいと思います。「地域の合意」が要だと考えています。

問10 町田市で自治会館を持っていないところは少ない。つくし野には自治会館がない。それなのに自治会として自由に使える自治会館が必要であるという燃える思いが伝わらない。我々に夢を与えていただきたい。会計について、地域のために使う会館に、地域が負担しなくていいというのは甘い。自治会負担は当然であって、各自治会とも積立金があつて豊かであるから、これを使えば会費が上がるということはない。そういうことも含めて建設の広報をしっかりとしてほしい。

回答：楽しい、夢のある会館づくりを目指します

問11 以前に実施したアンケートでは、ホールの利用率が94%で使えないとあったが、今回の自治会館の構想を見ると部屋が狭いので、ホールを使いたい人の会館ではない。そのような需要を充足する会館であるべきだ。次回のアンケートは部屋の広さなどを示してやってほしい。

回答：ご意見、ありがとうございます。センターと自治会館の利用者の面から見た違いは、(デリバリーや自家製が中心だが)飲食が可能なこと。(ごみ処理問題が片付けば、センターでも今後可能になるかもとの声もあった)。また、自治会資料の保管や地震避難用など、会議だけでない使い勝手を考えていきたい。

問12 自治会の活動が衰退しこのセンターも利用率が低下しているのに、新たな会館がなぜ、必要なのか？利用者を取り合うことになる。また、立地条件、部屋の広さなどからセンターより条件が良いとは言えない。建設には反対の意見を持っている。

回答：ご意見として承ります。

問13 コミュニティーセンターでも飲食ができる場所もある。自治会館を防災拠点にするということですが、市の防災計画との関係もあるので公にするのはまずいのでは？Q&A問6で、「高齢者が交流する場所や機会が多い地区は健康寿命が高い」というのはデータとして根拠がない。

回答：防災拠点にするということをして市の防災部に話をしており、あくまで可能性の話をしている。